

あべともこと共に歩む会総会記念講演 東日本大震災から 10 年 復興の現状と課題 桜井勝延・元南相馬市長



3 月 28 日【日】

歩む会総会 13:00 ~ 14:00

記念講演 14:30 ~ 16:30

1000 円 事前予約 800 円

藤沢市民会館第二展示ホール

東日本大震災に伴う東電福島第一原発事故から 10 年が経過しました。この 10 年、被災地では事故の収束と復旧・復興を目指して、国家の総力を挙げた事業が押し進められました。2014 年からは、国の避難指示区域の順次解除が行われています。この結果、原発事故の記憶が風化する一方で、被災地の復旧・復興が順調に進んでいるかのように思われている方も多いようです。

しかし、私たちが忘れてならないことは原発事故は未だに収束していないという冷厳な事実です。現在、私たちは新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言下にあります。原発事故直後に発された原子力緊急事態宣言は今だに解除されていないのです。福島県では、今なお 3 万 6 千人以上が県内外で避難生活を余儀なくされ、増え続ける放射能汚染水の処分問題や廃炉の前提である溶解核燃料(デブリ)の取り出しなど、解決困難な問題が山積しています。

今回、私たちは元南相馬市長桜井勝延さんをごゲストにお迎えして、お話をうかがう機会をもちます。桜井さんは、原発事故の際、住民の救済に献身される一方で、孤立した南相馬の危機的状況を全世界に発信して、米タイム誌から 2011 年版の「世界で最も影響力のある 100 人」に選ばれた方です。

桜井さんから、原発事故後の状況、復旧・復興の実情と課題についてお話をうかがい、東電福島第一原発事故が私たちに投げかけている問題について考えるための集会としたいと思います。ふるってご参加ください。

あべともこと共に歩む会総会にはどなたも参加できます
寒川町民センターから送迎します。12:00 出発